

科目名		授業形態	担当教員名	
呼吸療法装置学		講義	遠藤 宏和	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 2 単位）		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
院内における呼吸療法装置だけでなく、在宅酸素療法への業務拡大に伴い在宅酸素療法に必要な装置の操作、および保守管理についてより深く理解する必要がある。先ず、人工呼吸器以外の酸素療法装置に関する構造及び原理、周辺機器を学習し、患者管理及び安全対策について講義する。				
授業の到達目標				
呼吸療法装置（酸素療法装置、高気圧酸素療法装置、吸入療法装置）の基礎を修得し、装置の原理から手順および合併症までを学ぶ。				
授業計画				
回	内容			
1	呼吸療法総論・呼吸療法で用いる記号略語			
2	呼吸不全の病態生理			
3	医療ガス（ボンベ・設備）			
4	酸素療法(1)（用手式・ジャクソンリース）			
5	酸素療法(2)（Tピース・経鼻・酸素マスク）			
6	酸素療法(3)（リザーバー・ベンチュリー）			
7	酸素療法(4)（ネーザルハイフロー・NPPV）			
8	酸素療法(5)（NPPVモード・マスク・患者管理）			
9	酸素療法(6)（NPPVトラブル・保育器）			
10	在宅人工呼吸療法・睡眠時無呼吸障害			
11	高気圧酸素療法（第1種・第3種）			
12	高気圧酸素療法（適応・禁忌）			
13	高気圧酸素療法（点検・トラブル）			
14	吸引療法・給湿療法（加温・加湿）			
15	まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%			
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
臨床工学講座 生体機能代行装置学 呼吸療法装置第2版		廣瀬稔・生駒俊和	医歯薬出版	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
自由記載				
備考				